

湘南慶育病院

関口 貴之 (主任 / 医療連携室)

- 功 績 一つの活動が輪となり、患者さんが病院に求めている事の実践、地域から必要とされる活動の中心となっている功績
- 推 薦 者 小山 康子 (事務次長 / 事務)
- 推 薦 理 由 地域を愛する病院方針を体現し、地域の顔として活動し、病院の認知度向上に努めている関口主任を理事長賞に推薦させていただきます

内 容

今まで慶育祭などで、大きな催事にて地域の方をお招きする事はしてまいりましたが、日頃から地域へ赴く機会は限られていました。集患能力を高め、病院を利用し易くするには、身近に感じて頂く必要があり、「地域を愛する」という病院方針に則り、まず、関口主任を中心に毎週土曜日の美化運動に参加しました。活動メンバーの高齢化という問題に直面している中、病院の若い職員が参加した事で、地域の方に大変喜ばれました。この活動をきっかけに、地元で毎年開催されている祭りに参加並びにブース設置打診を受け、骨密度・握力測定等を通じて、たくさんの来場者に病院を知って頂く事につながりました。更に、各地域の会合にもご招待を受け、病院に求めている事を住民から直にお聞きし、送迎未実施地域への送迎依頼や土日祝の地元土木関係者の企業健診の実施依頼等、病院が取り組むべき課題が見えてきました。送迎は即時実施し、新患獲得だけでなく、通院に不便を感じていた患者さんからの感謝とお褒めの言葉は「親身な対応」を実践できたと考えます。

地域の方の担当のCMをお招きし、北川先生との勉強会や今年度より市民公開講座の開催数が増えましたが、美化活動から知り合いになった地域の方が多数、来場され盛況となっています。「この前ありがとね。今度いつ会える。お願いできる」といった会話が普通にされ、関口主任が地域の方から信頼されている証とも言えます。その他にも毎週月曜日の地域の方が育てた野菜を販売する慶育マルシェでも職員が野菜を買い、交流している光景も当たり前になってきました。